

令和2年度 広島大学 2次試験前期日程 (数学問題)150分  
理・工・医・歯・薬・教育(自然系・理数系)・  
総合学科(理科系)・生物生産

1  $a, b$  を正の定数とする.  $0 < \theta < \pi$  を満たす実数  $\theta$  に対し, 平面上で, 次の三つの条件 (i), (ii), (iii) を満たす三角形 PAB, およびこの三角形と辺 AB を共有する長方形 ABCD を考える.

- (i)  $PA = a, PB = b, \angle APB = \theta$  である.
- (ii) 2点 C, D はともに直線 AB に関して点 P と反対側にある.
- (iii)  $AB = 3AD$  である.

三角形 PAB の面積と長方形 ABCD の面積の和を  $S$  とする. 次の問いに答えよ.

- (1) 辺 AB の長さを  $a, b, \theta$  を用いて表せ.
- (2)  $S$  を  $a, b, \theta$  を用いて表せ.
- (3)  $\theta$  が  $0 < \theta < \pi$  の範囲を動くときの  $S$  の最大値を  $M$  とし,  $S$  が最大値  $M$  をとるときの  $\theta$  の値を  $\beta$  とする.  $M$  を  $a, b$  を用いて表せ. また,  $\sin \beta$  および  $\cos \beta$  の値をそれぞれ求めよ.
- (4)  $a = 16, b = 25$  とする. また,  $\beta$  を (3) で定めた値とする.  $\theta = \beta$  のときの, 点 P と直線 AB の距離を求めよ.

2  $i$  を虚数単位とする.  $z \neq -1$  を満たす複素数  $z$  に対し,

$$w = \frac{z - i}{z + 1}$$

とおく. 次の問いに答えよ.

- (1)  $z \neq -1$  のとき  $w \neq 1$  であることを示せ. また,  $w \neq 1$  のとき,  $z$  を  $w$  を用いて表せ.
- (2)  $t$  を  $-1$  と異なる実数とする. 複素数平面において, 実部が  $t$  である複素数全体の描く直線を  $l_t$  とおく. 点  $z$  が直線  $l_t$  上を動くとき, 点  $w$  はある円  $S_t$  から 1 点を取り除いた図形の上を動く. この円  $S_t$  の中心  $P_t$  に対応する複素数を  $t$  を用いて表せ.
- (3)  $P_t$  を (2) で定義した点とする.  $t$  が  $-1$  以外の実数全体を動くときに  $P_t$  が描く図形を, 複素数平面上に図示せよ.

**3** 関数  $f(x) = xe^{-2x^2}$  について、次の問いに答えよ。ただし、 $e$  は自然対数の底とする。

- (1) 関数  $f(x)$  の極大値および極小値を求めよ。また、極大値をとるときの  $x$  の値、および極小値をとるときの  $x$  の値を求めよ。
- (2)  $a > 0$  とし、点  $A(a, 0)$  を考える。また、座標平面上の曲線  $y = f(x)$  上の点  $(t, f(t))$  における接線を  $l_t$  とおく。  $l_t$  が点  $A$  を通るような実数  $t$  がちょうど二つあるとする。このとき、 $a$  の値を求めよ。さらに、その二つの  $t$  の値を  $p, q$  (ただし、 $p < q$ ) とおくと、 $p, q$  を求めよ。
- (3)  $q$  を (2) で定めた値とする。曲線  $y = f(x)$ 、直線  $x = q$  および  $x$  軸で囲まれた図形の面積を求めよ。

**4**  $n$  を正の整数とする。次の問いに答えよ。

- (1) 定積分

$$\int_0^{\frac{\pi}{n}} \sin nx \, dx$$

の値を求めよ。

- (2) 定積分

$$\int_0^{\pi} |\sin nx| \, dx$$

の値を求めよ。

- (3) 座標平面において連立不等式

$$0 \leq x \leq \pi, \quad 0 \leq y \leq \frac{1}{2}, \quad y \leq |\sin nx|$$

の表す図形を、 $x$  軸のまわりに 1 回転してできる回転体の体積を求めよ。

- (4) 座標平面において連立不等式

$$0 \leq x \leq \pi, \quad 0 \leq y \leq \sqrt{x} |\sin nx|$$

の表す図形を、 $x$  軸のまわりに 1 回転してできる回転体の体積を求めよ。

- 5 1個のさいころを3回投げる。1回目に出た目を $a_1$ ，2回目に出た目を $a_2$ ，3回目に出た目を $a_3$ とする。次に，1枚の硬貨を3回投げる。  $k = 1, 2, 3$  に対し， $k$  回目に表が出た場合は  $b_k = 1$ ，裏が出た場合は  $b_k = a_k$  とおく。ベクトル

$$\vec{a} = (a_1, a_2, a_3), \quad \vec{b} = (b_1, b_2, b_3)$$

を考える。次の問いに答えよ。

- (1)  $a_1 + a_2 + a_3 = 7$  である確率を求めよ。
- (2)  $b_1 = 1$  である確率を求めよ。
- (3)  $\vec{b} = (1, 1, 1)$  であったとき， $\vec{a} = (1, 1, 5)$  である条件付き確率を求めよ。
- (4)  $\vec{b} = (1, 1, 1)$  であったとき， $a_1 + a_2 + a_3 = 7$  である条件付き確率を求めよ。

## 解答例

- 1 (1)  $\triangle PAB$  に余弦定理を適用すると

$$AB^2 = a^2 + b^2 - 2ab \cos \theta$$

$AB > 0$  であるから

$$AB = \sqrt{a^2 + b^2 - 2ab \cos \theta}$$

- (2)  $AD = \frac{1}{3}AB$  であるから

$$\text{長方形 } ABCD \text{ の面積} = AB \cdot AD = \frac{1}{3}AB^2 = \frac{1}{3}(a^2 + b^2 - 2ab \cos \theta)$$

また,  $\triangle PAB = \frac{1}{2}ab \sin \theta$  であるから

$$\begin{aligned} S &= \frac{1}{2}ab \sin \theta + \frac{1}{3}(a^2 + b^2 - 2ab \cos \theta) \\ &= \frac{1}{3}(a^2 + b^2) + \frac{ab}{6}(3 \sin \theta - 4 \cos \theta) \end{aligned}$$

- (3)  $\cos \varphi = \frac{3}{5}$ ,  $\sin \varphi = -\frac{4}{5}$  とおくと  $(-\frac{\pi}{2} < \varphi < 0)$ , (2) の結果から

$$S = \frac{1}{3}(a^2 + b^2) + \frac{5ab}{6} \sin(\theta + \varphi)$$

$0 < \theta < \pi$  より,  $-\frac{\pi}{2} < \theta + \varphi < \pi$  であるから,  $S$  が最大なるとき,  $\theta + \varphi = \frac{\pi}{2}$  であるから

$$\theta + \varphi = \frac{\pi}{2} \quad \text{ゆえに} \quad \theta = \frac{\pi}{2} - \varphi$$

$$\text{よって} \quad \sin \theta = \sin\left(\frac{\pi}{2} - \varphi\right) = \cos \varphi = \frac{3}{5}$$

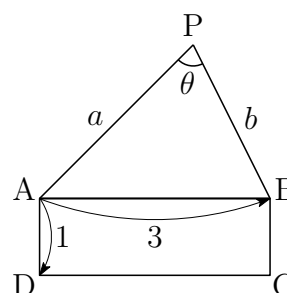
$$\cos \theta = \cos\left(\frac{\pi}{2} - \varphi\right) = \sin \varphi = -\frac{4}{5}$$

- (4)  $a = 16$ ,  $b = 25$ ,  $\theta = \theta$  のとき  $S = \frac{1}{2}ab \sin \theta = \frac{1}{2} \cdot 16 \cdot 25 \cdot \frac{3}{5} = 120$

$$AB = \sqrt{16^2 + 25^2 - 2 \cdot 16 \cdot 25 \cdot \left(-\frac{4}{5}\right)} = \sqrt{1521} = 39$$

点  $P$  から直線  $AB$  までの距離を  $h$  とすると,  $S = \frac{1}{2}AB \cdot h$  であるから

$$120 = \frac{1}{2} \cdot 39h \quad \text{よって} \quad h = \frac{80}{13}$$



$$\boxed{2} \quad (1) \quad w = \frac{z-i}{z+1} \text{ より } w-1 = -\frac{1+i}{z+1} \neq 0$$

したがって、 $z \neq -1$  のとき、 $w-1 \neq 0$ 、すなわち、 $w \neq 1$

$$\text{また } w(z+1) = z-i \text{ ゆえに } (w-1)z = -w-i$$

$$w \neq 1 \text{ に注意して } z = -\frac{w+i}{w-1}$$

$$(2) \quad \text{実部が } t \text{ の直線 } \ell_t \text{ 上の点 } z \text{ において } z + \bar{z} = 2t$$

$$\text{これに (1) の結果を代入すると } -\frac{w+i}{w-1} - \frac{\bar{w}-i}{\bar{w}-1} = 2t$$

$$(w+i)(\bar{w}-1) + (w-1)(\bar{w}-i) + 2t(w-1)(\bar{w}-1) = 0$$

$$2(t+1)|w|^2 - (2t+1+i)w - (2t+1-i)\bar{w} + 2t = 0$$

$t \neq -1$  より、 $t+1 \neq 0$  であるから

$$|w|^2 - \frac{2t+1+i}{2(t+1)}w - \frac{2t+1-i}{2(t+1)}\bar{w} = -\frac{t}{t+1}$$

$$\left| w - \frac{2t+1-i}{2(t+1)} \right|^2 = \frac{(2t+1)^2 + 1}{4(t+1)^2} - \frac{t}{t+1}$$

$$\text{したがって } \left| w - \frac{2t+1-i}{2(t+1)} \right| = \frac{1}{\sqrt{2}|t+1|}$$

上式および(1)の結果から、点  $w$  は点  $\frac{2t+1-i}{2(t+1)}$  を中心とする半径  $\frac{1}{\sqrt{2}|t+1|}$

の点 1 を除く円周上を動く。よって、求める円  $S_t$  の中心  $P_t$  は  $\frac{2t+1-i}{2(t+1)}$

補足  $\ell_t$  の点を  $z = t + (t+1)i \tan \theta$  とおくと  $^1(-\frac{\pi}{2} < \theta < \frac{\pi}{2})$

$$w = 1 - \frac{1+i}{z+1} = 1 - \frac{1+i}{(t+1)(1+i \tan \theta)}$$

$$= 1 - \frac{(1+i) \cos \theta}{(t+1)(\cos \theta + i \sin \theta)} = 1 - \frac{(1+i) \cos \theta (\cos \theta - i \sin \theta)}{t+1}$$

$$= 1 - \frac{(1+i)(1 + \cos 2\theta - i \sin 2\theta)}{2(t+1)}$$

$$= 1 - \frac{1+i}{2(t+1)} - \frac{\sqrt{2}(\cos \frac{\pi}{4} + i \sin \frac{\pi}{4}) \{ \cos(-2\theta) + i \sin(-2\theta) \}}{2(t+1)}$$

$$= \frac{2t+1-i}{2(t+1)} - \frac{\cos(\frac{\pi}{4} - 2\theta) + i \sin(\frac{\pi}{4} - 2\theta)}{\sqrt{2}(t+1)}$$

$-\frac{3\pi}{4} < \frac{\pi}{4} - 2\theta < \frac{5\pi}{4}$  であるから、点 1 を除く円周上を動く。

<sup>1</sup>[http://kumamoto.s12.xrea.com/nyusi/Qdai\\_ri\\_2019.pdf](http://kumamoto.s12.xrea.com/nyusi/Qdai_ri_2019.pdf) 5 の解説を参照。

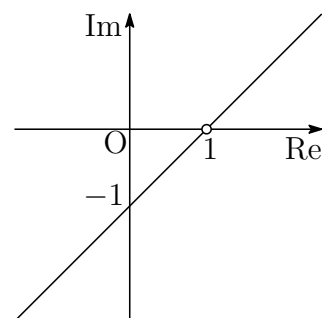
(3) (2) の結果から

$$\frac{2t+1-i}{2(t+1)} = x + yi \quad (x, y \text{ は実数})$$

$$\text{ゆえに} \quad x = \frac{2t+1}{2(t+1)}, \quad y = -\frac{1}{2(t+1)}$$

$$\text{したがって} \quad x-1 = y = -\frac{1}{2(t+1)} \neq 0$$

$$\text{よって} \quad \mathbf{y = x - 1} \quad (x \neq 1)$$



**3** (1)  $f(x) = xe^{-2x^2}$  より

$$f'(x) = e^{-2x^2} + x(-4x)e^{-2x^2} = (1+2x)(1-2x)e^{-2x^2}$$

$x$	...	$-\frac{1}{2}$	...	$\frac{1}{2}$	...
$f'(x)$	-	0	+	0	-
$f(x)$	$\searrow$	極小	$\nearrow$	極大	$\searrow$

$$\text{よって} \quad x = \frac{1}{2} \text{ のとき極大値 } \frac{1}{2\sqrt{e}}, \quad x = -\frac{1}{2} \text{ のとき極小値 } -\frac{1}{2\sqrt{e}}$$

(2) 曲線  $y = f(x)$  上の点  $(t, f(t))$  における接線  $l_t$  の方程式は

$$y - te^{-2t^2} = (1 - 4t^2)e^{-2t^2}(x - t)$$

$l_t$  が点  $(a, 0)$  を通ることから

$$-t = (1 - 4t^2)(a - t) \quad \text{ゆえに} \quad 4t^3 - 4at^2 + a = 0 \quad \dots (*)$$

$$g(t) = 4t^3 - 4at^2 + a \text{ とおくと} \quad g'(t) = 12t^2 - 8at = 4t(3t - 2a)$$

$a > 0$  より,  $g(t)$  の増減表は次のようになる.

$t$	...	0	...	$\frac{2a}{3}$	...
$g'(t)$	+	0	-	0	+
$g(t)$	$\nearrow$	$a$	$\searrow$	$-\frac{16}{27}a^3 + a$	$\nearrow$

$g(t) = 0$  の解がちょうど 2 個であるから,  $a \neq 0$  に注意して

$$-\frac{16}{27}a^3 + a = 0 \quad \text{ゆえに} \quad a \left( a^2 - \frac{27}{16} \right) = 0$$

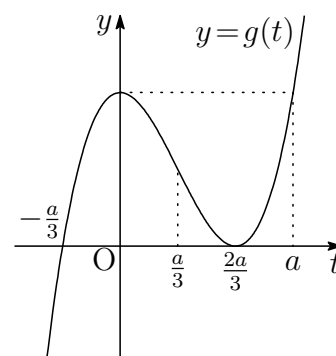
$$a > 0 \text{ に注意して, これを解くと} \quad \mathbf{a = \frac{3\sqrt{3}}{4}}$$

このとき、 $p < 0 < q = \frac{2a}{3}$  であり、方程式(\*)の解は  $p, q$  ( $q$  は 2 重解) であるから、解と係数の関係により

$$p + \frac{2a}{3} + \frac{2a}{3} = a \quad \text{ゆえに} \quad p = -\frac{a}{3}$$

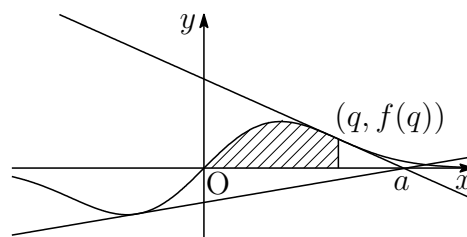
$$\text{よって} \quad p = -\frac{1}{3} \cdot \frac{3\sqrt{3}}{4} = -\frac{\sqrt{3}}{4}$$

$$q = \frac{2}{3} \cdot \frac{3\sqrt{3}}{4} = \frac{\sqrt{3}}{2}$$



補足 右上の  $y = g(t)$  のグラフの  $t$  座標  $-\frac{a}{3}, 0, \frac{a}{3}, \frac{2a}{3}, a$  は等差数列をなす<sup>2</sup>.

$f'(x) = (1 - 4x^2)e^{-2x^2}$  より、 $f''(x) = 4x(4x^2 - 3)e^{-2x^2}$  であるから、曲線  $y = f(x)$  上の変曲点は  $(-q, f(-q)), (0, 0), (q, f(q))$  である。点  $(q, f(q))$  における接線が点  $A(a, 0)$  を通る ( $a > 0$ )。3 次関数のグラフに引いた接線の本数についても、変曲点を通る場合が 2 本である<sup>3</sup>。



(3) (2) の結果から、求める図形の面積は

$$\int_0^q x e^{-2x^2} dx = \left[ -\frac{1}{4} e^{-2x^2} \right]_0^q = \frac{1}{4} (1 - e^{-2q^2}) = \frac{1}{4} (1 - e^{-\frac{3}{2}})$$

□ (1)  $\int_0^{\frac{\pi}{n}} \sin nx \, dx = \left[ -\frac{1}{n} \cos nx \right]_0^{\frac{\pi}{n}} = \frac{2}{n}$

(2)  $|\sin n(x + \frac{\pi}{n})| = |\sin nx|$  より、 $y = |\sin nx|$  は周期  $\frac{\pi}{n}$  の周期関数であるから、求める定積分を  $S$  とすると

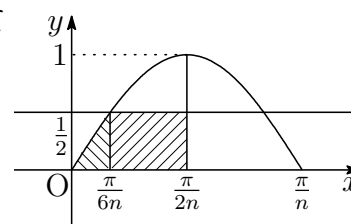
$$\frac{S}{n} = \int_0^{\frac{\pi}{n}} |\sin nx| \, dx = \int_0^{\frac{\pi}{n}} \sin nx \, dx = \left[ -\frac{1}{n} \cos nx \right]_0^{\frac{\pi}{n}} = \frac{2}{n}$$

よって  $S = 2$

<sup>2</sup>[http://kumamoto.s12.xrea.com/nyusi/kumadai\\_ri\\_2015.pdf](http://kumamoto.s12.xrea.com/nyusi/kumadai_ri_2015.pdf) (p.4 の解説を参照)

<sup>3</sup>[http://kumamoto.s12.xrea.com/N/THdai/THdai\\_ri\\_2015.pdf](http://kumamoto.s12.xrea.com/N/THdai/THdai_ri_2015.pdf) [2] の解説を参照

- (3) 右の図の斜線部分を  $x$  軸のまわりに 1 回転して  
できる回転体の体積を  $V_n$  とすると



$$\begin{aligned} \frac{V_n}{\pi} &= \int_0^{\frac{\pi}{6n}} \sin^2 nx \, dx + \int_{\frac{\pi}{6n}}^{\frac{\pi}{2n}} \left(\frac{1}{2}\right)^2 \, dx \\ &= \int_0^{\frac{\pi}{6n}} \frac{1 - \cos 2nx}{2} \, dx + \int_{\frac{\pi}{6n}}^{\frac{\pi}{2n}} \frac{1}{4} \, dx \\ &= \left[ \frac{x}{2} - \frac{1}{4n} \sin 2nx \right]_0^{\frac{\pi}{6n}} + \left[ \frac{x}{4} \right]_{\frac{\pi}{6n}}^{\frac{\pi}{2n}} \\ &= \frac{\pi}{6n} - \frac{\sqrt{3}}{8n} \end{aligned}$$

よって、求める体積は  $2nV_n = 2n \left( \frac{\pi}{6n} - \frac{\sqrt{3}}{8n} \right) \pi = \left( \frac{\pi}{3} - \frac{\sqrt{3}}{4} \right) \pi$

別解  $y$  軸を元に  $y = |\sin nx|$  ( $0 \leq x \leq \pi$ ) を  $x$  軸方向に  $n$  倍に拡大したものは、 $y = |\sin x|$  ( $0 \leq x \leq n\pi$ ) であり、 $x$  軸の周りの回転体の体積が  $n$  倍される。求める体積を  $V_0$  とすると

$$\begin{aligned} \frac{V_0}{2\pi} &= \int_0^{\frac{\pi}{6}} \sin^2 x \, dx + \int_{\frac{\pi}{6}}^{\frac{\pi}{2}} \left(\frac{1}{2}\right)^2 \, dx \\ &= \int_0^{\frac{\pi}{6}} \frac{1 - \cos 2x}{2} \, dx + \int_{\frac{\pi}{6}}^{\frac{\pi}{2}} \frac{1}{4} \, dx \\ &= \left[ \frac{x}{2} - \frac{1}{4} \sin 2x \right]_0^{\frac{\pi}{6}} + \left[ \frac{x}{4} \right]_{\frac{\pi}{6}}^{\frac{\pi}{2}} \\ &= \frac{\pi}{6} - \frac{\sqrt{3}}{8} \end{aligned}$$

- (4) 求める回転体の体積を  $V$  とすると

$$\begin{aligned} \frac{V}{\pi} &= \int_0^{\pi} (\sqrt{x} |\sin nx|)^2 \, dx = \int_0^{\pi} x \sin^2 nx \, dx \\ &= \int_0^{\pi} \frac{x}{2} (1 - \cos 2nx) \, dx \\ &= \left[ \frac{x^2}{4} - \frac{1}{4n} x \sin 2nx - \frac{1}{8n^2} \cos 2nx \right]_0^{\pi} = \frac{\pi^2}{4} \end{aligned}$$

よって  $V = \frac{\pi^3}{4}$



- 5 (1)  $a_1 + a_2 + a_3 = 7$  の場合の数の総数は、7個の○を一行に並び、間の6カ所のうち2カ所に仕切りを作り、区切られた○の個数を順番に  $a_1, a_2, a_3$  としたときの場合の総数に等しい。よって、求める確率は

$$\frac{{}_6C_2}{6^3} = \frac{5}{72}$$

- (2)  $b_1 = 1$  となるのは、次の事象である。

- 1回目に投げた硬貨が表である。
- 1回目に投げた硬貨が裏で、 $a_1 = 1$  である。

これらの事象は、互いに排反であるから、求める確率は

$$\frac{1}{2} + \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{6} = \frac{7}{12}$$

- (3)  $\vec{a} = (1, 1, 5)$ ,  $\vec{b} = (1, 1, 1)$  となる事象をそれぞれ  $A, B$  とする。(2)の結果から

$$P(B) = \left(\frac{7}{12}\right)^3$$

$A \cap B$  は、さいころの出た目が順に 1, 1, 5 で、硬貨は、1, 2回目は表・裏どちらでもよく、3回目が裏となる事象であるから

$$P(A \cap B) = \left(\frac{1}{6}\right)^3 \times 1^2 \cdot \frac{1}{2} = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{6}\right)^3$$

よって、求める条件付き確率は

$$P_B(A) = \frac{P(A \cap B)}{P(B)} = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{6}\right)^3 \times \left(\frac{12}{7}\right)^3 = \frac{4}{343}$$

- (4)  $a_1 + a_2 + a_3 = 7$  となる事象を  $C$  とする。 $B \cap C$  は、 $\{a_1, a_2, a_3\}$  の組合せが  $\{1, 1, 5\}$ ,  $\{1, 2, 4\}$ ,  $\{1, 3, 3\}$ ,  $\{2, 2, 3\}$  の場合であるから

$$\begin{aligned} P(B \cap C) &= \left(\frac{1}{6}\right)^3 \left\{ \frac{3!}{2!} \cdot 1^2 \cdot \frac{1}{2} + 3! \cdot 1 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^2 + \frac{3!}{2!} \cdot 1 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^2 + \frac{3!}{2!} \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^3 \right\} \\ &= \left(\frac{1}{6}\right)^3 \frac{33}{8} \end{aligned}$$

$$\text{求める条件付き確率は } P_B(C) = \frac{P(B \cap C)}{P(B)} = \left(\frac{1}{6}\right)^3 \frac{33}{8} \times \left(\frac{12}{7}\right)^3 = \frac{33}{343}$$